

岩屋中だより

令和7年9月1日 NO15

発行 長崎市立岩屋中学校

文責：校長 川口 猛

2学期に頑張って取り組みたいこと (やればできることばかり・・・)

さて、2学期が始まりました。これまでの岩屋中学校をこの夏休みに振り返り、その振り返りを通して、2学期の重点を始業式で示しました。

心のベクトルは、自分に向ける

うまくいかないこと、楽しくないこと、自分の思い通りにならない原因を他人の中に見つけて他人のせいにしなないということです。1学期の本校の様子を見ていて、安易な方向に流されずに、自己実現のために自分に対して厳しくある姿が今以上に増えてくれば、各人の、学級の、学年のそして学校の、そして岩屋は一層成長するのではないのでしょうか。ベクトルという言葉は聞きなれない言葉だと思いますが、力の向きと大きさを示す矢印です。SNSトラブル防止にも役立つものと考えています。人間は、複数で生活する以上、うまくいかないことが出てきます。その時、その原因を自分にあるとみるか、他人にあるとみるかで解決の流れも変わってくるものです。自身に反省し、向上するための『鍵』がないかを探すのも、自分を大切にする方法の一つです。

ものごと自分の思うようにならなかつたり、順調に進まずにイライラしたり、トラブったり……。誰もそのような経験があると思います。そのようなときに、自分の心の中には、『あーうまくいかない。むかつく！ どうせ●●のせいさ、やぜー、自分は悪くない、絶対△△のせいやしー』みたいな『ネガティブな感情』が生じています。そのネガティブな感情をそのままにしておいても、気持ちがすっきりしないから、そのような気持ちにした原因を私たちはついつい自分以外に向けることが多いものです。それは、子どもだけでなく、大人であっても同様だと私は考えていますし、これを書いている私も例外ではありません。壁にぶつかり、それを乗り越えるべき時に、私たちは、どうしても、その原因を外に見つけてしまいます。そこで、見極める力（ベクトル）を外から自分自身にベクトルを向かせるようにすることも成長にとって大きな要素となり、自分自身の学びになると思います。

そういう私も、ベクトルが外に向き、原因を自分自身の中に探せていないなと感じています。大変難しい内容・表現ですが、自分の幸せを実現するために、もともとを見るベクトルは、外ばかりでなく、自分に向かせたいと思います。

正しい行動判断基準を持つ

私たちの行動するときの判断基準は、楽しいか（楽か）楽しくないか（楽じゃない）ではなく、正しいか、正しくないかで決めなければなりません。私たちの行動の中で、これをすれば楽しいということも、道徳的に見た時に、それは正しくないということはたくさんあつたりするものです。校内生活を振り替え経ったときに、この言葉や次の言葉が必要だと感じました。『したくても、してはいけないことは、してはいけない。したくなくても、しなければならぬことは、しなければならぬ。』です。『楽しいから……』という理由で判断し行動することによって、周囲に迷惑をかけることもあるはずで、私たちの行動判断の基準は、それを行うことが『正しいか、正しくないか』です。私自身も肝に銘じながら過ごしたいと思っています。

プラス思考で自分と周囲を大切に

マイナスに考えれば、おのずと個人も、集団もそちらへ向いていくものです。言霊ではありませんが、自分たちの生活に不満をばかり持つと、マイナスのエネルギーが蓄積されます。それより、笑う門には福来るという言葉があるように、前向きに考えれば、力がわいて出くるものです。プラス思考＝前向きで、自分を大切にしてほしいと思います。自分たちを大切にしてほしいと思います。自分を甘やかすというのではなく、自分を成長させるという意味で、プラス思考は大切です。

簡単なことを大切に！

とはいっても、なかなか自分一人では流されやすいもの。だから集団（チーム）の存在が意味を持つ。チームの力が高まれば、個人にフィードバックされます。集団（チーム）の力を高める毎日を送りたいものです。

そのチームの力を高めるうえでも、上記の簡単なことを大切にしたいものです。そこで具体的な例を出しました。

場を清め、時を守り、礼を正す

生活空間をきれいにして場を清めること。簡単にできます。時を守って、規律ある生活を送ること。自分自身校内生活においてできているかを振り返りましょう。例を正すとは、礼儀正しさを忘れないということです。小さな心がけて達成できると思います。足元から固めていきましょう。

2学期の始業式にあたって、2学期の重点を述べてきました。次の示すものは、始業式のスライドの中の、重点に係る部分です。上記の文章をまとめています。

(1) 心のベクトルは、自分に向ける。

※ベクトルとは力の向きのこと
うまくいかないこと、楽しくないこと、自分の思い通りにならない原因を他人の中に見つけて他人のせいにならない。

||

心の中のつぶやきは、他人に向けた悪口・つぶやきではなく、力の方向は自分自身へ向ける。

(2) 正しい判断基準を持つ

したくても、してはいけないことは、してはいけない。
したくなくても、しなければならないことは、しなければならない。

||

私たちの行動するときの判断基準は、**楽しいか(楽か)楽しくないか(楽じゃない)**ではなく、**正しいか、正しくないか**

(3) プラス思考で自分と周囲を大切に！

マイナスに考えれば、おのずと個人も、集団もそちらへ向いていく。
甘やかすわけではなく、前向きに考えれば、力がわいて出る。**プラス思考=前向きで、自分を大切に**してほしい。
自分たちを大切にしてほしい

なかなか自分一人では流されやすいもの。だから集団（チーム）の存在が意味を持つ。**チームの力が高まれば、個人にフィードバックされる。集団（チーム）の力を高める毎日**を！

(4) 簡単なことを大切にしよう

場を清め、時を守り、礼を正す

自分の中でできることは何だろう？
皆でできることは何だろう？

まとめると.....

有り難し=ありがとう=笑顔

優しさ（憂いに寄り添う愛）

支える人間、支え合う集団（愛）

新しい自分に変える（**Change** チェンジ）
新しい自分になる好機（**Chance** チャンス）
変わるために挑戦する（**Challenge** チャレンジ）

+

- ・『簡単なことを大切にしよう！』
- ・『心のベクトル（力の向き）は、自分自身へ向ける。』
- ・『正しい判断の基準』
- ・プラス思考で自分を周囲を大切にしよう！